

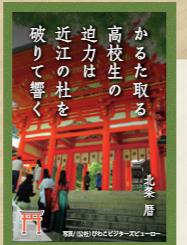


第15首

大津エリア

作者 中島朋子

歌意 ハイキングの団体とすれ違い挨拶した時は、とても爽やかな気持になりました。昔なら関所なので、緊張したでしょうね。出会いと別れの場所でも。

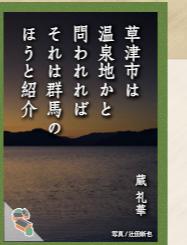


第21首

大津エリア

作者 北条暦

歌意 近江神宮で毎年行われるかるた大会は、観る者の五感に響く迫力があります。

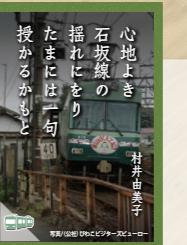


第27首

湖南エリア

作者 蔵礼華

歌意 県外の方に「滋賀県草津市から来ました」と伝えると、「温泉地だよね」とよく言われます。「それは群馬のほう」と答えた後の反応も楽しめています。



第30首

大津エリア

作者 村井由美子

歌意 身近で好きな京阪電車石坂線。程よい揺れに身を置き、趣味の俳句の種を探したり。授かりもの一句が出来るかもとの微かな望みを胸に…。

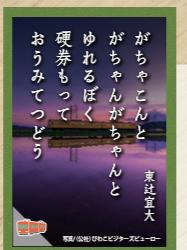


第16首

湖北エリア

作者 川上幸夫

歌意 火縄銃を仕上げるには、瓦金という鐵板に芯を入れて筒の形にします。その接合部分を分からなくなるまで鍛えます。国友鉄砲鍛冶の職人技は今でも光っています。



第22首

その他



作者 東辻宜大

歌意 ぼくは電車が好きです。特に近江鉄道のガチャンガチャンというゆれと音が好きです。それから、硬券切符を買えるのも昔みたいで好きです。

高田さん
COMMENT

上の句でなぜ揺れるのかと思わせて、下の句が自然な答えになっています。「硬券」の二字が、一昔前にノスタルジックな雰囲気を醸しています。

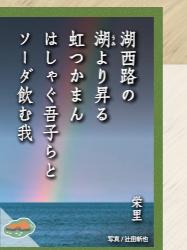


第28首

東近江エリア

作者 そらまめ

歌意 太郎坊宮は、途中までは車でも登れますが、自分の足で登ってこそ願いが叶うと信じています。



第31首

琵琶湖

作者 栄里

歌意 高島市へ家族でドライブの途中、琵琶湖の上に虹ができるのを見つけ、車を停めて虹の出ているところまで行こうと話をした思い出を詠みました。

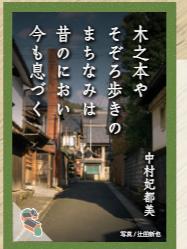


第17首

東近江エリア

作者 松浦宣子

歌意 静かな景色が好きです。長居がしたくなります。

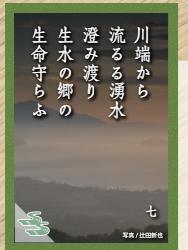


第23首

湖北エリア

作者 中村妃都美

歌意 嫁いできて、40年以上。若者が減りつつある中、移住してきた方々も増えつつある、この町の変わらない街並みが好き。



第18首

高島エリア

作者 七

歌意 ふるさと高島の風景を想いました。いつまでも清き水が流れる故郷でありますように。我が父母をいつまでもお守り下さりますように。



第24首

高島エリア

作者 560

歌意 夫が好きなメタセコイア並木をやっと見にいく道中の161号線、琵琶湖の風・風景がとても心地よく、さらに心躍ったことが忘れない。

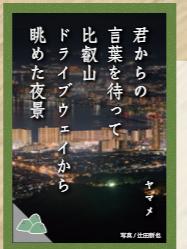


第19首

大津エリア

作者 上田 準

歌意 大津の街を巡回する曳山の豪華さと迫力に圧倒されたので、その特徴を歌にして残したいと思いました。



第25首

大津エリア

作者 ヤマメ

歌意 三回目のデートで比叡山からの夜景を見に行きました。告白される予感はあったので私は黙って夜景を見ることに集中しているふりをしていました。



第26首

湖東エリア

作者 那須洋子

歌意 私の住んでいる豊郷町は農村地帯です。黄色く実った秋の田園の中を近江鉄道の電車が走ります。ブルーと黄色い田んぼの色がキレイです。



第29首

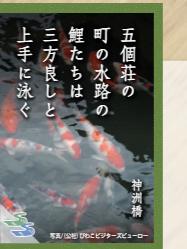
大津エリア

第33首

大津エリア

作者 樋口淳一郎

歌意 近江大津宮跡を訪ねたときの歌です。京阪に乗りました。



第34首

東近江エリア

作者 神洲橋

歌意 東近江市五箇荘金堂に商人たちが築いた町屋敷、水路、先進的な暮らし。水路の鯉たちもまた商人たちの心得を知るかのように泰然と泳ぎます。



第20首

大津エリア

作者 文音

歌意 夏の終わりに近づいた夕方に、唐橋を渡った時の情景を詠みました。美しい夕景と少し秋の気配を感じる物寂しさが心に残りました。



第26首

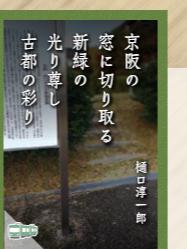
湖東エリア

第35首

琵琶湖

作者 山下航生

歌意 自分が夜に琵琶湖へ行った時に、琵琶湖に映っている星がキレイだったので、その時のことを思い出して詠みました。

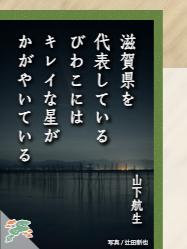


第29首

大津エリア

作者 樋口淳一郎

歌意 近江大津宮跡を訪ねたときの歌です。京阪に乗りました。



第33首

琵琶湖

作者 山下航生

自分が夜に琵琶湖へ行った時に、琵琶湖に映っている星がキレイだったので、その時のことを思い出して詠みました。